

NORMA

ノーマ

2022

8

August

社協情報

No.359

特集

離島・中山間地域等における社協が実施する介護サービスの取り組み <p.2>

レポート 離島・中山間地域における介護サービスの現状と課題、今後のサービス提供のあり方

株式会社浜銀総合研究所 地域戦略研究部

副主任研究員 北野知裕

研究員 大瀧逸朗

事例1 三豊市内における福祉介護共同送迎業務の確立

香川県・三豊市社会福祉協議会

事例2 離島における社協を中心とした人材確保・育成の取り組み

鹿児島県・和泊町社会福祉協議会

● 発信！地域で取り組む生活困窮者支援【第4回】 <p.6>

多機関と連携した、外国人とつながる支援

大阪府・泉佐野市社会福祉協議会

上智大学総合人間科学部 准教授 鍋木 奈津子氏

● 社協活動最前線 <p.8>

中能登町社会福祉協議会（石川県）

フードドライブや「なかのと結びネット」で地域住民に支援の輪を広げる

● 連携・協働のチカラ【第4回】 <p.10>

コープと連携した見守りサービス

兵庫県・神河町社会福祉協議会

● 社協が取り組む孤独・孤立対策に向けた子どもの食生活支援 <p.11>

子どもたちに笑顔と元気を!!

永平寺町社会福祉協議会（福井県）

● 社協職員のシフクノトキ【第4回】 <p.12>

新潟県・阿賀町社会福祉協議会 谷垣 智子氏



事例 1

三豊市内における福祉介護共同送迎業務の確立

香川県・三豊市社会福祉協議会

三豊市福祉介護MaaSビジョンへのかかわり

三豊市は、2019年10月に「三豊市福祉介護MaaS (Mobility as a Service) ビジョン」(以下、MaaSビジョン) を策定した。MaaSビジョンでは、三豊市のめざしたい姿として、「高齢者が豊かに過ごし続けられるまちをつくること」、「福祉介護事業者が、高品質な介護サービスを提供し、事業が維持できる環境をつくること」、「地域に人が集まり“まち”が活性化している状態をつくること」を掲げている。

少子高齢化、介護職員の減少、要介護者の増加等を踏まえ、現状のままでは介護施設の維持が厳しくなり、やがては高齢者の地域での暮らしが継続できなくなるおそれもあり、MaaSビジョン実現のためには、介護施設の職員等が一番負担と感じている送迎業務の負担を軽減する取り組みが必要である。

三豊市社会福祉協議会(以下、市社協)では、三豊市・ダイハツ工業株式会社(以下、ダイハツ工業)と連携協定を結び、MaaSビジョンを実現するため、介護施設が個別に提供するサービス(競争領域)と共同で運用するサービス(協調領域)に区別し、共同で運用する仕組みづくりとして、共同送迎業務に取り組むことになった。

市社協が、複数施設の送迎を集約し、地域一体で乗り合う効率的な新しい送迎の形を提供することで、介護現場の負担軽減を図りたい。

共同送迎業務の具体的な取り組みの内容

三豊市では、市内通所介護事業所40施設を直接訪問し、送迎に関する困りごとや課題などについてヒアリングを実施した。その結果、MaaSビジョンに賛同が80%、送迎の外部委託・共同化の賛同も75%を得た。

そこで、2020年6月に経済産業省の「新地域MaaS創出推進事業」の採択を受け、同年11月から1か月間の実証事業を開始した。実証事業では、通所介護事業所5施設を対象に市社協が新たに雇入れた地域のシニアドライバーによる共同送迎業務を行い、概ね計画通りの成果を得ることができた。

2021年にも同事業に採択され、同年11月から翌年1月までプレ運行を行った。プレ運行では新たな地域を加えた5施設を対象とし、運行管理について

は、介護タクシー運行の実績がある地元のタクシー会社に委託し、事業の実現性を検証した。

複数法人の利用者を共同送迎するには、乗降地点や身体機能、家族構成、施設の利用時間等の事情が異なるので、各施設からの情報をもとに最適な送迎ルート等を検討する必要がある。手作業での送迎計画作成の負担を軽減するため、ダイハツ工業から共同送迎運行管理システム(ゴイッショ)の提供を受け、共同送迎に最適な配車や送迎ルートの作成、リアルタイムでの運行管理、走行ルートナビゲーションについて、機能性・操作性等の実用化を検証した。

今後の展望

2020年の実証事業を踏まえ、2021年のプレ運行事業では、地域のタクシー事業者と連携体制を構築した。しかし、送迎ドライバーの勤務時間は朝夕の4時間程度であり、人材の確保が困難である。そこで、市社協の強みである地域とのつながりを活かし、働きたいアクティブシニアに着目。送迎ドライバーとして就業できるような社会参加も支援していく。

また、共同送迎業務が事業継続できるよう送迎の外部委託化に対する介護報酬の新設等を提案・要望していきたい。

さらに、市内全域への事業拡大を図るとともに、運営コストの見直しや付加価値の高い魅力ある事業内容にしていかなければならない。市社協として、共同送迎業務を事業として確立させることにより、MaaSビジョンの達成に寄与したいと考えている。



市社協が運営を担う共同送迎